

Bevacizumab BS Guidebook

Bevacizumab BS “AMGEN” Guidebook

ベバシズマブBS 「アムジェン」 ガイドブック

ベバシズマブBS「アムジェン」による治療を受けられる
乳がんの患者さんご家族の方へ



はじめに

ベバシズマブBS「アムジェン」(以下、ベバシズマブBS)は、分子標的薬とよばれる乳がんの治療に使われるお薬です。

この冊子は、ベバシズマブBSによる治療を安心してうけていただくために、乳がんの患者さんやご家族の方に知っておいていただきたい、お薬の性質や働き、治療の進めかた、お薬による副作用や注意すべき症状などをまとめたものです。

ご自身の状態や治療の内容を十分に理解していくことが、最良の治療には必要です。巻末にある治療ダイアリーなどを活用して、ご自身の状態を把握しながら治療していくことをおすすめします。

治療を始めるにあたり、気になることや不安に思うことがありましたら、遠慮せずに担当医師や看護師、薬剤師などの医療スタッフにご相談ください。

また、治療を始めてからも、ちょっとした体調の変化や不安に思うことなどがありましたら、ご相談ください。

監修：兵庫県立がんセンター
研究部長兼ゲノム医療・臨床試験センター次長
腫瘍内科部長(診療科長)

松本 光史

Bevacizumab BS “AMGEN” Guidebook

ベバシズマブBS「アムジェン」 ガイドブック

目次

- 6 乳がんの薬物療法について
- 8 ベバシズマブBSってどんなお薬？
- 10 BS（バイオシミラー）ってなんのこと？
- 13 治療の対象となる人は？
- 14 治療はどのように行われるの？
- 16 副作用はあるの？
- 24 日常生活で気をつけることは？
- 26 治療ダイアリー



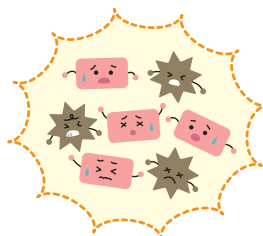
乳がんの薬物療法について

がん薬物療法とは、お薬によってがん細胞を攻撃する治療です。がんのある部分だけに行う手術や放射線療法とは異なり、がん薬物療法は、お薬が血液の流れにのって全身をめぐる「全身療法」です。からだのどこかにひそんでいるかもしれないがん細胞にも、効果があります。

乳がんの薬物療法には、主に次のお薬が使われます。

● 抗がん剤

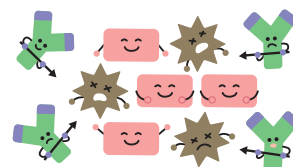
がん細胞を殺したり、異常な増殖を抑えたりするお薬です。正常な細胞にもダメージを与えてしまうため、食欲が落ちる、気分が悪くなるなどの副作用が出ることがあります。



抗がん剤による治療

● 分子標的薬

がん細胞の増殖にかかわっている物質(分子)を目印として、がん細胞を「ねらいうち」するお薬です。ペバシズマブBSは分子標的薬のひとつで、治療の効果をさらに高めるために、抗がん剤と併用されます。分子標的薬では、一般的な抗がん剤と違う副作用が起こることがあります。



分子標的薬による治療

● 免疫チェックポイント阻害薬

がん患者さんで働きが弱くなってしまっている免疫機能を回復させて、がん細胞を攻撃できるようにするお薬です。免疫機能が働きすぎることによる副作用が生じる可能性があります。

● ホルモン療法(内分泌療法)

ホルモン療法は女性ホルモンであるエストロゲンを減らしたり、乳がん細胞がエストロゲンと結びつかないように邪魔したりすることで、がん細胞の増殖を抑えるお薬です。閉経前と閉経後ではエストロゲンの量や分布が異なるため、それに合わせたお薬が使われます。女性ホルモンを減らすため、更年期症状として知られる、顔や体のほてりや汗、骨粗しょう症などの副作用がみられることがあります。

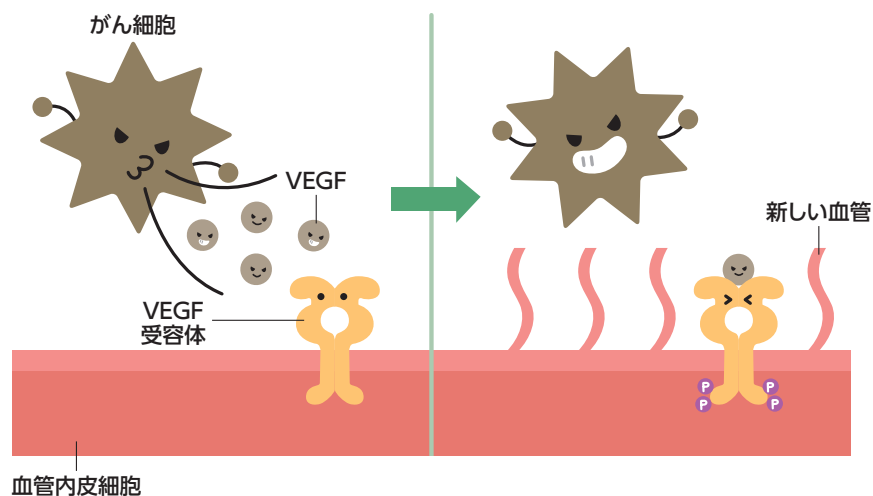


ベバシズマブBSってどんな お薬？

● 血管内皮増殖因子(VEGF)とは？

血管内皮増殖因子(VEGF)は、新しい血管をつくらせる命令を伝える物質です。とくに胎児のころに血管をつくる際になくてはならないものですが、大人になると必要な血管はすでにつくられているため、からだが必要とするときだけ働くようにコントロールされています。

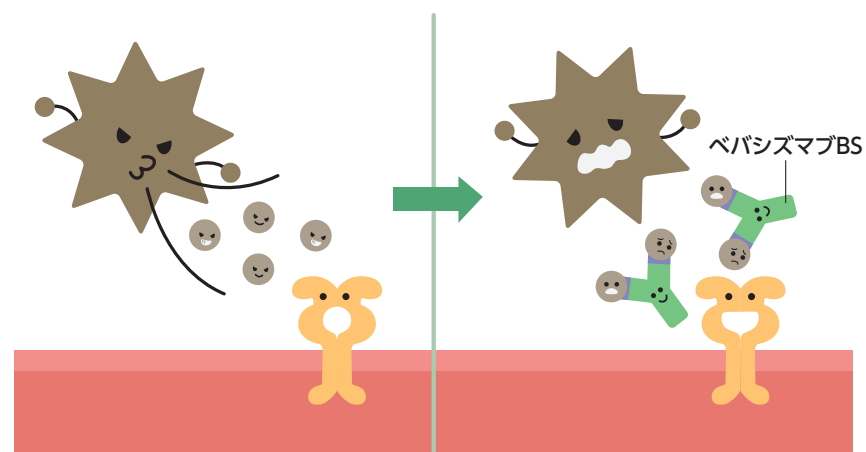
がんが大きくなるには、がん細胞に酸素や栄養を運ぶための血管が必要です。がん細胞はこのVEGFを利用して、がんの周りに新しい血管をつくろうとします。



● 新しい血管をつくらせないようにして、がん細胞を酸欠・栄養不足に追い込むお薬です

がんは血管を通じて運ばれる酸素や栄養を摂取して大きくなります。がんの周りに十分な血管がないと酸素や栄養が不足するため、がんは新しい血管をつくらせる命令を伝える物質であるVEGFを放出し、がんの周りに新しい血管をつくらせます。

ベバシズマブBSは、VEGFに結合して命令の伝達を阻止し、新しい血管をつくらせないようにしたり、がんの周りにできた異常な血管を衰えさせることで、がん細胞への酸素や栄養の供給を抑えるお薬です。





BS (バイオシミラー) ってな んのこと?

● ベバシズマブBSは、バイオ医薬品のひとつです

ベバシズマブBSは、バイオ医薬品のひとつです。

バイオ医薬品とは、最新のバイオテクノロジーを応用してつくられたタンパク質をお薬にしたものです。

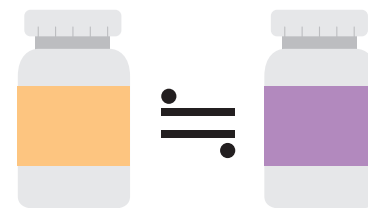
バイオ医薬品の開発や製造には、高い技術力と最先端の設備が必要なため、ほかのお薬にくらべると高価で、患者さんの医療費の負担が大きくなってしまふことがあります。そこで登場したのが、ベバシズマブBSのようなバイオシミラー(BS)です。



● BS=バイオシミラー

バイオシミラー(biosimilar)とは、特許が切れたバイオ医薬品を別の製薬会社が製造し、発売したものです。シミラーは「似ている」という意味で、先に発売されていたお薬(先行品)とほぼ同じ効果が期待できることに加え、先行品よりもお薬の値段が安くなっています。

ベバシズマブBSは、日本では2007年から使われてきたアバスチン®というお薬のバイオシミラーです。



● ジェネリック医薬品との違い

ジェネリック医薬品は、先に発売されていたお薬とまったく同じ有効成分を含んでいます。一方、バイオシミラーは、生き物の力を利用したバイオテクノロジーによってつくられるため、先行品とのごくわずかな違いが生じることがあり、「まったく同じ」とまではいえません。

先に発売されていたお薬の特許が切れたあとに発売される点は、どちらもいっしょです。



BS(バイオシミラー)ってなんのこと?

● 効果や安全性が確認されています

バイオシミラーが発売されるまでには、お薬としての品質や効果が、先行品と同等であること(違いがあったとしても、問題にはならないくらい、わずかであること)が厳しくチェックされます。

たとえば、患者さんを対象とした臨床試験によって、効果や安全性が先行品とほぼ同じであることが確認されています。

発売されたあとも、実際にバイオシミラーを使っている患者さんの調査を行い、安全性に問題がないかなどを引き続き確認していきます。



治療の対象となる人は?

● 手術ができない または再発の乳がんの患者さんが対象

ベバシズマブBSによる治療の対象となるのは、手術ができない乳がん、あるいは再発乳がんと診断された患者さんです。

- がんの転移がみられ、手術ですべてのがんを取り除くことができない、または手術によって臓器の機能を損なう可能性がある、などの理由で、手術ができない患者さん
- 手術後に再発し、上記と同様の理由で、再手術ができない患者さん





A diagram comparing the infusion times of two drugs. On the left, an orange arrow-shaped box contains the text 'パクリタキセル' (Pacritaxel) and an illustration of an IV drip. Below this box, a horizontal line with a double-headed arrow indicates a duration of '約60分' (Approx. 60 minutes). On the right, a green arrow-shaped box contains the text 'ペバシズマブBS' (Pebasizumab BS) and an illustration of an IV drip. Below this box, a horizontal line with a double-headed arrow indicates a duration of '約30～90分' (Approx. 30 to 90 minutes).

薬剤名	点滴時間
パクリタキセル	約60分
ペバシズマブBS	約30～90分

ベバシズマブを2週間に1回投与します。



副作用はあるの？

ベバシズマブBSによる治療で比較的多くみられる副作用として、高血圧、尿にタンパクが出る(蛋白尿)、鼻血や歯ぐきからの出血、痰に血液が混じる(血痰)、白血球数や好中球数の減少などがあげられます。

副作用には個人差があり、いつごろ、どのような症状があらわれるかは、患者さんによって異なります。悪化を防ぐためにも、副作用と思われる症状があらわれたら、すぐに担当医師や看護師、薬剤師に相談してください。注意を要する副作用としては、以下のようなものがあります。

- 投与時反応・ショック・アナフィラキシー (18ページ)
- 消化管穿孔・瘻孔形成 (19ページ)
- 創傷治癒遅延 (19ページ)
- 出血(消化管・肺・脳など) (20ページ)
- 血栓塞栓症・血栓性微小血管症 (21ページ)
- 高血圧・高血圧性脳症・高血圧性フリーゼ (22ページ)
- 可逆性後白質脳症症候群 (22ページ)
- 蛋白尿・ネフローゼ症候群 (23ページ)
- 骨髄抑制 (23ページ)
- その他の副作用 (23ページ)

また、ベバシズマブBSをほかのお薬といっしょに使う場合は、その副作用にも気をつける必要があります。抗がん剤とホルモン療法薬の主な副作用として、以下のようなものがあります。

使用するお薬によって副作用は異なります。どのような副作用があらわれる可能性があるのか治療を開始する前に担当医師に確認しましょう。

- 抗がん剤
 - 食欲がなくなる
 - 気分が悪くなる(吐き気・嘔吐)
 - 脱毛
 - 白血球が減る(感染症になりやすい:突然の高熱、寒気)
 - 貧血(体がだるい、めまい)
- ホルモン療法薬
 - ホットフラッシュ(ほてり)
 - 生殖器の症状(性器出血など)
 - 関節や骨・筋肉の症状(こわばりや痛み)
 - 精神・神経症状(頭痛、落ち込み、イライラ)
 - 骨がもろくなる(骨粗しょう症)など



副作用はあるの？

● 投与時反応・ショック・アナフィラキシー

ベバシズマブBSの点滴中に、皮膚の異常や悪寒(さむけ)などの症状があらわれることがあります。

点滴中に以下のような症状があらわれたら、がまんしないで、すぐに近くにいる医師、看護師、薬剤師にお知らせください。

- ☐ のどが腫れたような感じがする
- ☐ 息苦しい
- ☐ 頭痛
- ☐ 唇が腫れる
- ☐ 悪寒(さむけ)がする
- ☐ かゆみ、じんましんなどが出る



● 消化管穿孔・瘻孔形成

ベバシズマブBSの重い副作用として、臨床試験での頻度は1%未満と多くはありませんが、胃や腸といった消化管に穴があくことがあります。消化管のどこに穴があくかは患者さんによって異なり、多くの場合、穴をふさぐための緊急手術が必要になります。以下のような症状があらわれたら、すぐに担当医師、看護師にお知らせください。



- ☐ 強い腹痛 ※痛み止めなどを服用せず、すぐに担当医師、看護師に連絡してください。

● 創傷治癒遅延

ベバシズマブBSによる治療では、傷が治りにくくなる場合があります。とくに治療を開始する前(1ヵ月以内)に大きなけが、手術をしている方や、ベバシズマブBSの投与終了後に手術を行う場合には注意が必要です。ベバシズマブBSの投与後に以下のような症状があらわれたら、すぐに担当医師、看護師にお知らせください。また、手術の予定がある場合は、担当医師に相談してください。



- ☐ 傷口がひらく
- ☐ 傷口から出血する



副作用はあるの？

● 出血(消化管・肺・脳など)

ベバシズマブBSの投与によって、鼻出血、消化管出血(吐血、下血)、肺出血(血痰、咯血)、脳出血などが生じることがあります。以下に該当する方は、症状が悪化しやすいため、十分に注意する必要があります。治療を開始する前に必ず担当医師にお知らせください。

- ☐ 出血が止まりにくい体質の方
- ☐ 血液を固まりにくくするお薬を服用している方

また、出血が生じてもしっかり対処できるように、以下のような症状があらわれたら、すぐに担当医師、看護師にお知らせください。

☐ 口から血を吐く

※吐いた血液の色(鮮紅色、チョコレート色など)、量、性状(泡状、かたまりなど)、血液と一緒に吐いたもの(痰など)についても伝えてください。

- ☐ 下血・黒色便
- ☐ 強い頭痛
- ☐ 吐き気・嘔吐
- ☐ 手足のしびれ・まひ
- ☐ 視野や視力の異常
- ☐ うまくしゃべれない
- ☐ 意識がうすれる



● 血栓塞栓症・血栓性微小血管症

ベバシズマブBSによる治療中に、血管の中に血液のかたまり(血栓)ができることがあります。なお、がんの患者さんでは、もともと血栓ができやすいことがわかっています。心筋梗塞、脳梗塞、肺塞栓症などの血栓塞栓症を予防するために、以下について心がけましょう。

- ☐ 長時間にわたり同じ姿勢をとらない
- ☐ 脱水症状を引き起こさないようにする(適量の水分をとる)
- ☐ 禁煙する
- ☐ 中性脂肪やコレステロールを減らす
- ☐ 規則正しい生活を送る

また、血栓塞栓症や血栓性微小血管症が生じてもしっかり対処できるように、以下のような症状があらわれたら、すぐに担当医師、看護師にお知らせください。

- ☐ 胸を刺すような/しめつけられるような痛み
- ☐ ろれつが回らない
- ☐ 手足の力が入らない
- ☐ めまいがする
- ☐ 足のむくみ、痛み、しびれ
- ☐ 息切れ、息苦しい
- ☐ 青あざができる





副作用はあるの？

● 高血圧・高血圧性脳症・高血圧性フリーゼ

ベバシズマブBSの治療中に、血圧が高くなることがあります。自分の血圧の値をよく知るためにも、家庭用血圧計などを使って血圧を測り治療ダイアリーに記録する習慣をつけるとよいでしょう。普段より高い血圧値が測定されたら、医師、看護師、薬剤師に記録を見せるなどしてお知らせください。なお、以下のような症状があらわれた場合も、すぐに担当医師、看護師にお知らせください。

☐けいれん ☐頭痛 ☐言葉が出にくい ☐意識の低下

● 可逆性後白質脳症症候群

ベバシズマブBSでの治療によって、脳に障害が起こることがあります。高血圧をとまなう場合と、とまなわない場合があります。以下のような症状があらわれたら、すぐに担当医師、看護師にお知らせください。

☐けいれん ☐頭痛 ☐視覚障害 ☐意識の低下

● 蛋白尿・ネフローゼ症候群

ベバシズマブBSの治療によって、腎臓の働きが低下することがあります。腎臓の働きが急に低下すると、むくみ、体重増加、食欲不振、嘔吐、倦怠感がみられたり、尿が出にくくなったりすることがあります。以下のような症状があらわれたら、すぐに担当医師、看護師にお知らせください。

☐むくみ ☐体重増加 ☐食欲不振
☐嘔吐 ☐倦怠感 ☐尿量減少

● 骨髄抑制

ベバシズマブBSでの治療中に、血液検査の結果に異常があらわれることがあります(好中球の減少や白血球の減少など)。貧血や出血、感染症などが起こることもありますので、これらの症状があらわれたら、すぐに担当医師、看護師にお知らせください。

● その他の副作用

ベバシズマブBSの投与によって、以下の副作用がおこる可能性があります。

☐感染症(肺炎、敗血症、壊死性筋膜炎など) ☐間質性肺炎
☐うっ血性心不全 ☐動脈解離



日常生活で気をつけることは？

● 食事

体力を維持するために、栄養バランスのとれた食事を心がけましょう。食欲のないときや吐き気があるときには、刺激やにおいの強いものを避け、体調をみながら、好きなものや食べられるものを少量ずつゆっくりとるようにしましょう。こまめに水分をとることも大切です。



● 運動

適度にからだを動かすことは、体力の維持や回復を助けるだけでなく、気分転換にもなります。担当医師と相談し、無理のない範囲で、散歩や、楽しいと感じられるような軽い運動を行いましょう。



● 眠れないとき

眠れない、寝つきが悪い、寝た気がしないと感じることがあるかもしれません。緊張をほぐす薬や、睡眠薬などによる対処が可能ですので、担当医師に相談してください。



● 疲れたとき

疲れやだるさをおぼえたり、からだが思うように動かなかったり、精神的にしんどいと感じたりしたときは、無理をせず、仕事や家事などはいったん後回しにして、のんびり休むことも大切です。

いろいろなことを考えて不安になってしまったときには、自分だけでかかえこまずに、周りの人や医療スタッフに話してみてください。□に出して誰かに聞いてもらうことで、気持ちが整理されて、落ち着くこともあります。

ストレッチや深呼吸などでリラックスすることも効果的です。





治療ダイアリー

はじめてベバシズマブBSの点滴をうけた日

年 月 日()

ベバシズマブBSによる治療中は、体調の変化に注意が必要です。気になることがあれば、遠慮せず担当医師や看護師、薬剤師に相談してください。

次ページからの治療ダイアリーに、副作用と思われる症状や体調、気になること、医療スタッフに伝えたいこと・質問したいことなどを記入しておき、受診時に持参してください。

ご自分のからだの状態を記録しておくことで、副作用を早くみつけられる可能性があります。また、担当医師が治療計画をたてるうえでも役立つ情報となります。

ただし、以下のような症状があらわれたら、すぐに担当医師にお知らせください。

- ☐ 激しい腹痛
- ☐ 意識がなくなる
- ☐ ろれつが回らない
- ☐ まひが出る
- ☐ めまいがする
- ☐ 血圧が高くなった ※安静時に繰り返し測定して、最大血圧が180mmHg、最小血圧が120mmHgを超えた場合はすぐに連絡してください。
- ☐ 激しい頭痛
- ☐ 気分が悪い・吐き気がする
- ☐ けいれんがある
- ☐ 胸が痛い、しめつけられるような感じがする
- ☐ 足のむくみ、痛みがある
- ☐ 突然息切れがする
- ☐ 口から血を吐く
- ☐ 血便が出る
- ☐ 傷口がひらく、傷口から出血する
- ☐ 鼻血が出る ※鼻を指でつまんで圧迫してから10～15分たっても血が止まらない場合はすぐに連絡してください。
- ☐ 歯ぐき、腔などから出血する

〈記入例〉
11/13
(水)

☒ ベバシズマブBSの点滴をうけた(10 時 30 分ごろ)
☐ 気になる症状や体調の変化：
特になし

/
()

☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ)
☐ 気になる症状や体調の変化：

/
()

☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ)
☐ 気になる症状や体調の変化：

/
()

☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ)
☐ 気になる症状や体調の変化：

/
()

☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ)
☐ 気になる症状や体調の変化：

● 医療スタッフに質問したいこと

/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：

●医療スタッフに質問したいこと

/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：

●医療スタッフに質問したいこと

/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：

●医療スタッフに質問したいこと

/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：

●医療スタッフに質問したいこと

/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：

●医療スタッフに質問したいこと

/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：

●医療スタッフに質問したいこと

/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
/ ()	☐ ベバシズマブBSの点滴をうけた(時 分ごろ) ☐ 気になる症状や体調の変化：
●医療スタッフに質問したいこと	

気になる症状があらわれたときや、すぐに病院に連絡したいときなどのために、あらかじめ記入しましょう。

■緊急連絡先

医療機関名	
電話番号	日中：
	夜間：
	休日：
担当医師名	科 先生

■本人情報

氏名	
電話番号	
アレルギー	

■家族連絡先

家族の氏名	電話番号

ベバシズマブBS「アムジェン」 緊急連絡先カード

緊急時に必要となる情報を記入し、
外出時は、このカードを携帯するように
心がけましょう。

▼ 切り取ってご使用ください。

ベバシズマブBS「アムジェン」緊急連絡先カード

名前	
生年月日	(明・大・昭・平) 年 月 日生 男・女
住所	
電話番号	



このカードの所持者が意思表示できない場合は、
救急隊にこのカードをお渡しください。

折り線 ▶

治療を受けている 医療機関名	
担当医師名	
診察券番号	

その他の 連絡先	名前	続柄
	電話番号	

私は、抗悪性腫瘍剤ベバシズマブBS「アムジェン」
による治療を受けています

救急外来担当の先生へ

緊急対応が必要な副作用として、まれに次のような症状が発現することがあります。症状がみられた場合には適切な医療機関での処置と主治医への連絡をお願いします。

緊急対応を要する副作用と初期症状	
●消化管穿孔 -----	突然起こる強い腹痛
●腫瘍関連出血を含む	
- 消化管出血 -----	吐血、下血
- 脳出血 -----	突発性の意識障害、神経症状、頭痛
●喀血 -----	継続的かつ増加傾向を認める血痰 もしくは口腔からの出血
●血栓塞栓症	
- 脳梗塞 -----	突発性の意識障害、神経症状
- 心筋梗塞、狭心症 -----	胸痛（胸部圧迫痛）
- 肺塞栓症 -----	呼吸困難、胸痛、意識障害
- 深部静脈血栓症 -----	下肢の腫脹、疼痛、色調変化
●高血圧に伴う緊急症	
- 高血圧性脳症 -----	頭痛、悪心・嘔吐、痙攣など

◀ 折り線